学校番号	207

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	発展日本史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	佐藤信ほか『詳説日本史』（山川出版社）						
副教材等	『新詳日本史』（浜島書店）/『日本史用語集』（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は単に過去について知るというだけでなく、現在起こっている様々な事象に興味・関心を持ち、「なぜ」そうなったのか、どう移り変わってきたのか、これからどうすればよいのか、を含めて考える営みです。そのために、知識を利用して「読む（読み取る）」、「調べる」、考え・考察して「書く」、資料などから論理的・経験的に考え、表現し「話す」などを通じて、歴史の学び方、生かし方を現在・自己とのつながりを意識して学んでほしいと思います。

2　学習の到達目標

「知識及び技能」…生徒による日々の学習を通して、近現代の歴史にかかわる諸事象に関する基本的知識や歴史の見方・考え方を身につける。

「思考力、判断力、表現力等」…生徒が自ら資料等を調べることを通して、近現代の歴史的事象が現代とどう関わっているか考察する力をつける。

「学びに向かう力、人間性等」…生徒自ら歴史の分岐点となる事象を取り上げ、その歴史的事実がなぜ時代を変化させたのか、現代との関わりを踏まえながら主体的に探究する力をつける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとすることができる。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近現代の地域・日本と世界	近代国家の展開	a: 条約改正，日清・日露戦争，第一次世界大戦，社会運動の動向，政党政治の展開などを基に，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容について理解する。 b: 地域社会の変化，アジアや欧米諸国との関係，戦争が及ぼした影響などに着目して主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立，第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済，国民の政治参加の拡大について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c: 諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査	定期考査 授業課題	授業課題
		近代の産業と生活	a:産業革命の展開，交通の整備，学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，産業の発展の影響，近代の文化や大衆社会の特色について理解する。 b:産業の発達の背景と影響，労働や生活の変化，教育の普及とその影響などに着目して主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈を根拠を示して表現する。 c: 諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業課題 パフォーマンス課題	授業課題 パフォーマンス課題

2学期	近現代の地域・日本と世界	恐慌と第二次世界大戦	a：恐慌と国際関係，軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会の変容を理解する。 b：国際社会との関係，政治・経済体制の変化，大戦の展開と国民生活への影響などに着目して主題を設定し，大戦と日本の動向の関わりについて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史的諸事象の解釈を根拠を示して表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業課題	授業課題
		占領下の日本	a：占領政策と諸改革，平和条約と独立の回復，戦後の経済復興などを基に，我が国の再出発及び国民生活の変容を理解する。 b：第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違，冷戦の影響などに着目して主題を設定し，大戦前後の国家・社会の変容や戦後政治の展開について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史的諸事象の解釈を根拠を示して表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業課題	授業課題
		高度成長の時代 激動する世界と日本	a：アジア諸国との関係，高度経済成長の状況，国際社会の変容などを基に，国内外の政治・経済や国民生活の変容を理解する。 b：国民の生活や地域社会の変化などに着目して主題を設定し，日本経済の発展について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史的諸事象の解釈を根拠を示して表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査	定期考査 授業課題	授業課題

3学期	現代の日本の課題の探究	現代の日本の課題の探究	a: 歴史的経緯を踏まえて，現代の日本の課題を理解する。 b: 歴史の画期，地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係，それ以前の時代からの継続や変化などに着目して，現代の日本の課題の形成に関わる歴史について，多面的・多角的に考察，構想して表現する。 c: 諸資料を活用し，現代の日本の課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	授業課題	授業課題	授業課題
		問題演習	a:これまでに学習した古代～近現代の日本の歴史について多角的に理解することができている。 b:これまでに学習した日本史の知識を基に，設問が要求しているポイントを押さえて答えを導き，表現することができている。 c:問題について考察する中で，その時々の事象が後代の歴史や世界にどのような影響を与えているかを考察し，追究しようとしている。	授業課題	授業課題	授業課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度